

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 39週 > 流行性耳下腺炎 - ここ10年間で最大の定点当たり報告数が持続している / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第39週の報告数は84で、第39週時点での今年の累積報告数は3,805



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / 手足口病 / 無菌性髄膜炎 / 咽頭結膜熱



速報
P.6

熊本県で発生した *Vibrio vulnificus* 感染症の集積について



海外感染症情報
P.7

パキスタンでクリミア・コンゴ出血熱流行の報道 / 西ナイルウイルスの活動性 - 米国 / コートジボワールで黄熱の流行 - 更新



感染症の話
P.8-10

感染性胃腸炎
ノーウォーク様ウイルス、ロタウイルスなど多種多様な微生物による胃腸炎を広く包含する症候群



読者のコーナー
P.11-12

バイオテロリズム
に関する情報



グラフ総覧(39週)
P.13-19

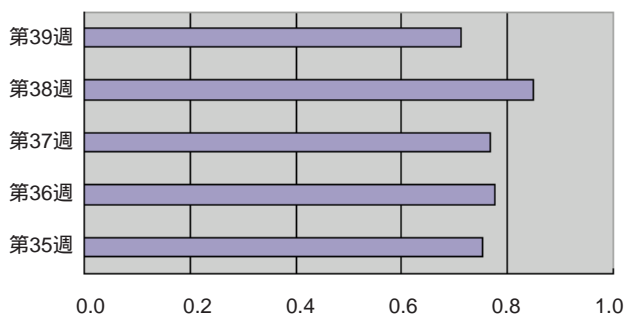


39週のデータ
P.20-27

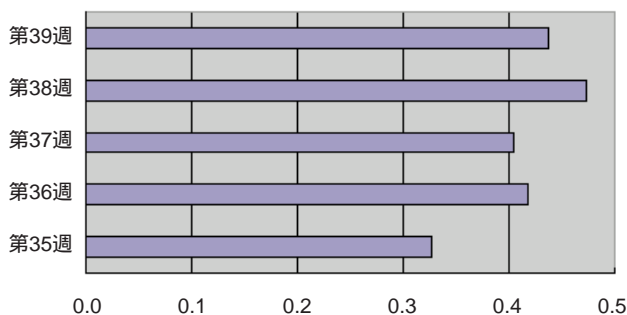
最近の注目疾患－5週間の動き

手足口病、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は前週より減少した。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週、前々週とほとんど変わらないが、例年より報告数が多い状態が持続している。基幹病院定点からの報告疾患である無菌性髄膜炎は2週続けて定点当たり報告数が増加した。同じく、基幹病院定点からの報告疾患であるマイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は前週より増加した。

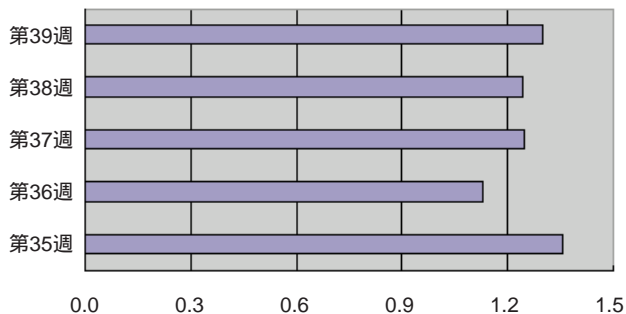
手足口病



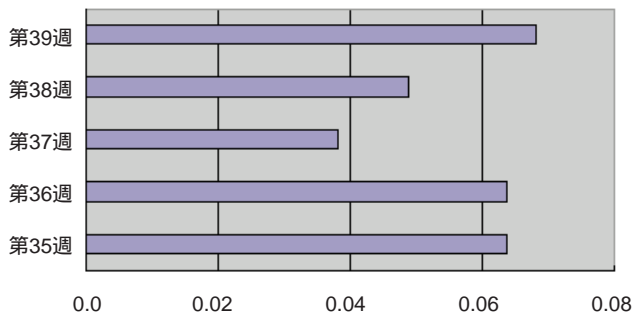
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



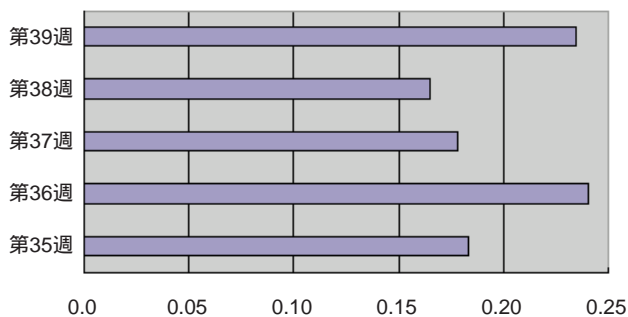
流行性耳下腺炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

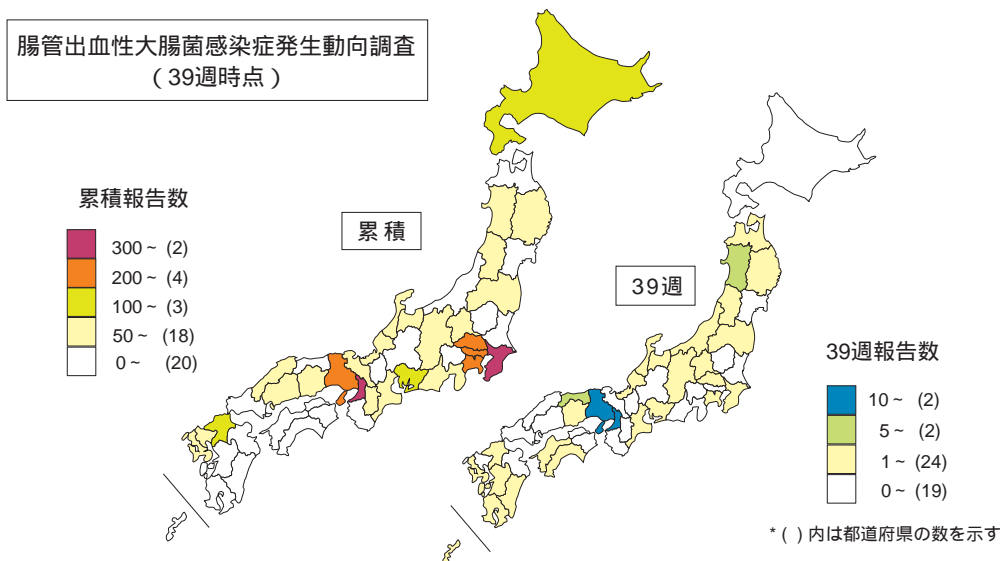


注目すべき感染症

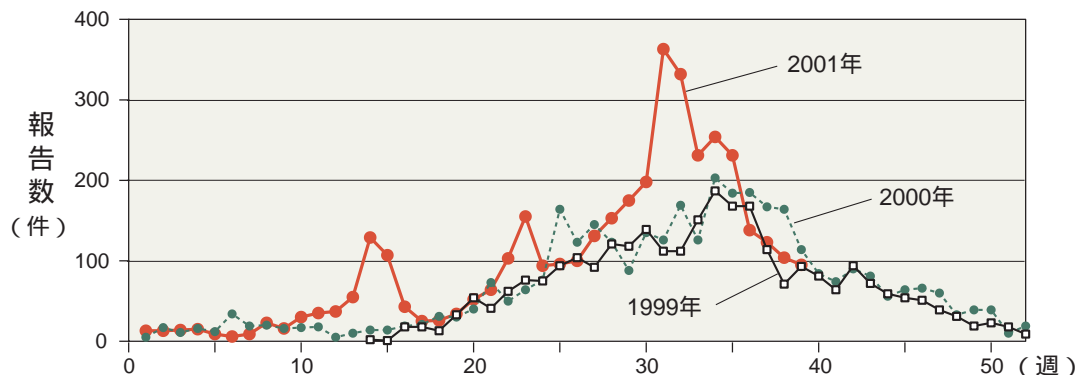
腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2001年は早期から複数のO157による集団感染事例が発生した影響で、昨年、一昨年に比べ早い時期から報告件数が多くなっている。第39週の報告数は84例で、都道府県別では、兵庫県(16例)、大阪府(11例)などの報告が多かった。84例のうち有症者は52例で、重症例の報告は認められなかった。

第39週時点での本年の累積報告数は3,805例であり(昨年同期2,822)、都道府県別では千葉県(353例)、大阪府(312例)、東京都(296例)、神奈川県(254例)、兵庫県(241例)などからの報告が多い。本年度の累積報告数を年齢階級別にみると、0~4歳が最も多く(842例)、次いで5~9歳(530例)、10~14歳(344例)が多くなっている(病原体については5ページを参照)。



腸管出血性大腸菌感染症 (無症状保菌者含む) 発生状況





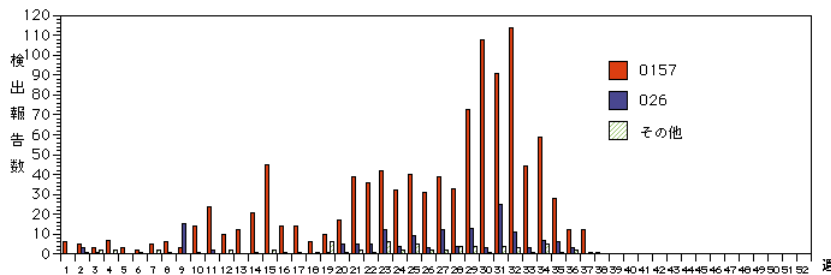
病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2001年10月5日現在報告分)

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26検出報告 2001年

本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が1,060件、O26が158件である。最近では、O157が第37週に12件(埼玉県5、東京都3、富山県2、堺市1、熊本市1)、第38週に1件(富山県1)、O26が第36週に3件(埼玉県1、富山県1、長崎県1)の報告があった。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2001年 (病原微生物検出情報: 2001年10月5日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



手足口病患者から分離されたウイルス 2001年

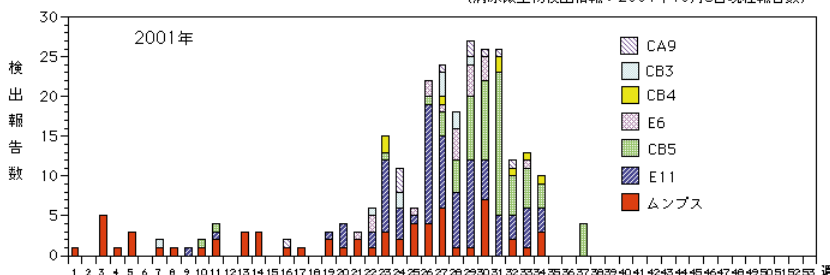
本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、CA16が117件(長野県13、愛知県12、愛媛県11、福岡県10、埼玉県9、山形県8、秋田県7、熊本県7など)、EV71が9件(長野県3、愛媛県3、東京都1、川崎市1、広島県1)、CA6が12件(島根県7、奈良県4、愛媛県1)、CA4が9件(香川県6、秋田県2、島根県1)、CA8が2件(香川県2)、CA2が1件(長野県1)、CA10が1件(島根県1)、CB4が1件(北九州市)、CB5が1件(滋賀県1)、E11が4件(広島市3、熊本市1)である。

無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス 2001年

本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、ムンプスウイルス40件(東京都12、新潟県7、広島県4、大阪府3、愛媛県3、京都市2、香川県2など)、エコーウイルス(E)113件(11型83、6型19、3型3、18型3、25型2、9型1、16型1、21型1)、B群コクサッキーウイルス(CB)80件(5型62、3型9、4型8、6型1)、A群コクサッキーウイルス(CA)11件(9型9、4型1、6型1)、エンテロウイルス71型(EV71)1件である。

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離報告数、2001年

(病原微生物検出情報: 2001年10月5日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス 2001年

本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、アデノウイルス3型106件(仙台市26、長野県21、新潟県13、愛知県8、愛媛県6、東京都4、川崎市4、奈良県4、札幌市3、岡山県3、大分県3など)、2型23件(仙台市11、長野県3、兵庫県3、新潟県2など)、1型8件(愛知県2、広島市2、兵庫県、北九州市、熊本県、熊本市各1)、4型6件(札幌市2、新潟県2、兵庫県、福岡市各1)、5型6件(兵庫県2、仙台市、岡山県、島根県、北九州市各1)、7型3件(北九州市3)である。



熊本県で発生した *Vibrio vulnificus* 感染症の集積について

2001年7月上～中旬にかけて、熊本県八代郡で3例の *Vibrio vulnificus* (Vv) 感染症が発生し、熊本大学医学部附属病院に入院した。Vv感染症についてはサーベイランスが行われていないため、正確な発生状況は把握できていないが、古城らの報告によれば、1978～1997年の20年間に熊本県では13例が確認されているのみである。今回の異常な症例の集積に関して、実地疫学調査を2001年7月25日～8月1日に実施したので、その結果を報告する。

熊本大学医学部附属病院、および熊本県内の関連する医療機関のネットワークを用い、「2001年6、7月にVv感染症と診断された症例」を集めた。確認された症例についてはカルテ閲覧、および主治医への聞き取りによる調査を行った。また、可能な範囲で本人・家族への聞き取りも行った。

積極的疫学調査により、熊本県内で計7例のVv感染症症例(敗血症型6例、創傷型1例)が確認された。発症日は6月29日～7月18日、発症地域は不知火海沿岸(八代郡、八代市)から6例、有明海沿岸(玉名市)から1例であった。症例はすべて男性で、年齢は42歳～76歳、全例が肝疾患(アルコール性肝疾患4例、C型肝炎3例)で治療中であり、また5例に糖尿病の合併が認められた。経過中ショック症状を呈した症例は4例、消化器症状(嘔吐、下痢など)を呈した症例は4例であった。敗血症型のうちで皮膚症状をみとめなかったものが1例あった。8月1日の時点で、3例(すべて敗血症型)が死亡していた。危険曝露因子として、敗血症型では発症0～2日前のシヤク生食(シヤクみそ、シヤク醤油漬)3例、刺身喫食(コチ、アジなど)3例が確認された。シヤクは汽水域で捕れるシヤコに似た海産物で、今回の症例に関連した自家製のシヤク(生食)加工過程のなかで、不適切と思われるもの(材料シヤク採取時期、加工前冷凍の省略など)があった。

環境要因については、6月下旬～7月上旬にかけての高気温・高水温、および大雨の影響によると考えられる海水塩濃度の変化などにより、病原体が生存・増殖・伝播しやすい環境が形成され、そのためVv感染症の集積がおこった可能性も考えられた。

今回の熊本県でのVv感染症の集積については、敗血症型の症例は7月16日を最後に発生が確認されていないことより、早期の行政からの広報、啓蒙活動が功を奏して、一応の終息をみたとの判断もできる。しかし、諸条件がそろえば今後も再びVv感染症の集積は起こる可能性がある。

今回の調査においては、調査期間の制約もあり、熊本県全体のVv感染症の発生状況を明らかにすることができなかつた。また、臨床診断および検査室診断がなされなかつた症例は見つけ出すことができないため、今回の集積の全体像をつかみきれしていない可能性もある。なお、仮説検証のための解析疫学は実施することができなかつた。

調査にあたり多大なご協力をいただいた、熊本大学医学部(内科学第一講座、救急医学講座、集中治療部)、熊本労災病院、熊本済生会病院、八代市立病院、公立玉名中央病院、熊本中央病院、熊本气象台、熊本県水産研究センターに深謝いたします。

熊本大学医学部皮膚科学講座

小野友道 井上雄二 横山真為子 栄 仁子 後藤和枝

熊本県健康福祉部 河津俊彦 平野芳久

熊本県八代地域振興局 南 龍一

国立感染症研究所感染症情報センター

松井珠乃 小松崎 真 大山卓昭 岡部信彦

(IASR2001年10月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

パキスタンでクリミア・コンゴ出血熱流行の報道

WHO/CSR 2001年10月4日

アフガニスタン国境のパキスタン側で、死亡8例を含む75例がクリミア・コンゴ出血熱ウイルスに感染したとの報道がなされた。

WHOのパキスタン事務所、クエッタのWHOチーム、およびWHO東地中海地域事務局がこの報道を調査してきた。内容は次のとおりである。クリミア・コンゴ出血熱の患者がこの地域では毎年発生するので、今週、クエッタの病院がクリミア・コンゴ出血熱患者の治療のために特殊病棟を開設した。病棟が開設されると同時に4名の疑い患者が他の医療機関から移送されたり、病気についての問い合わせがなされた。すべての患者は前週パキスタンで発症したが、それぞれに関連性はなかった。採取された患者検体は通常の手続き通りに、イスラマバードにある国立衛生研究所に送付された。

2001年(3月から10月の間に発生)にパキスタンで報告されたクリミア・コンゴ出血熱疑い患者総数は、死亡12例を含めて41例であった。その他に、アフガニスタンで感染した2例の死亡例を含む6例の患者(5月から8月の間に発生)が、パキスタンで治療を受けた。最近発症したこれらの患者は、概してこの病気の典型的な様相を示している。クリミア・コンゴ出血熱はダニによって伝播される疾患で、気候が少し寒くなるとともに、流行は数週以内に終息するであろうと予測される。

西ナイルウイルスの活動性 - 米国

MMWR 2001年10月5日

今年これまでに25例の西ナイル脳炎患者が、ニューヨーク州(6例*)、コネチカット州(5例)、メリーランド州(5例)、フロリダ州(4例**)、ニュージャージー州(4例)、ジョージア州(1例)で報告されている。そのうち、ジョージア州で1例が死亡した。23州、およびワシントンD.C.から合計3,060羽のカラスと、カラス以外のトリ1,191羽が西ナイルウイルス陽性と確認された。トリ以外の動物の西ナイルウイルス感染はすべてウマで、11州(アラバマ州、コネチカット州、フロリダ州、ジョージア州、ケンタッキー州、ルイジアナ州、マサチューセッツ州、ミシシッピ州、ニューヨーク州、ペンシルバニア州、バージニア州)から80頭が報告された。また、12州(コネチカット州、フロリダ州、ジョージア州、イリノイ州、メリーランド州、マサチューセッツ州、ニューハンプシャー州、ニュージャージー州、ニューヨーク州、オハイオ州、ペンシルバニア州、ロードアイランド州)で、蚊620群が西ナイルウイルス陽性であったことが報告された。

*10月4日現在、ニューヨーク州保健当局は、西ナイル脳炎患者を10名と発表している。

**10月3日現在、フロリダ州保健当局は、西ナイル脳炎患者を8名と発表している。

コートジボワールで黄熱の流行 - 更新

WHO/CSR 2001年10月2日

9月29日までに保健省は、コートジボワール全域から死亡20例を含む黄熱疑い患者174例が発生し、そのうち23例が黄熱と確定診断されたと報告した。首都アビジャンでは、死亡7例を含む黄熱疑い患者47例が発生し、そのうち7例が確定診断された。



感染症の話

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は単一の疾患を意味するものでなく、多種多様な病原体による胃腸炎を広く包含する症候群である。細菌性疾患として腸チフス/パラチフス、細菌性赤痢、コレラ、腸管出血性大腸菌(EHEC)感染症など、原虫性疾患としてランブル鞭毛虫症、赤痢アメーバ症、クリプトスポリジウム症なども、広義の意味では感染性胃腸炎に入るが、通常それぞれの疾患として分類される。したがって、實際上感染性胃腸炎として分類されるのはカンピロバクター、サルモネラ、腸炎ビブリオ、EHEC以外の下痢原性大腸菌などの細菌、ノーウォーク様ウイルス、ロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルスによるものが中心となる。さらに、1999年4月施行の感染症法の下で行われている感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎が小児科定点把握疾患であることから、冬季におけるノーウォーク様ウイルスとロタウイルスの二つが重要な病原体となっている。

疫学

旧体制下では乳児嘔吐下痢症、感染性胃腸炎として分けてサーベイランスを行っていたが、1999年4月施行の感染症法の下では、感染性胃腸炎としてのサーベイランスに一本化された。その流行曲線は主にノーウォーク様ウイルスとロタウイルスの流行を反映し、このことは病原体サーベイランスによって裏付けられている。これら2種のウイルスによる感染性胃腸炎が圧倒的多数であるため、その他の病原体の動向を流行曲線から読み取ることは困難である。1999年4月からの感染症発生動向調査によると、感染性胃腸炎の流行曲線は12月にみられる比較的シャープなピークと、1~3月にみられるなだらかなピークとからなるが、前者の多くはノーウォーク様ウイルス、後者の多くはロタウイルスによるものと考えられる。

ノーウォーク様ウイルスの場合にはヒト-ヒト感染によって小児を中心に流行がみられる。また、成人ではカキの生食などによる食品媒介の感染も多く、ノーウォーク様ウイルスを原因とする小規模および中規模集団発生事例においては、生カキ関連事例がその3~4割を占める。しかし、大規模発生事例においては仕出し弁当や学校給食の占める割合が多い(病原微生物検出情報月報 Vol.19, No.11 & Vol.20, No.11, IDWR2001年第8週号参照)。また、食品衛生法の下での食中毒届け出でみると、1998~2000年の3年間で見た場合、ノーウォーク様ウイルスによる事件数はそれぞれ123(全体の4.2%)、116(4.3%)、238(10.8%)となっており、患者数はそれぞれ5,213(12.1%)、5,217(14.8%)、7,772(18.2%)となっている。

一方、ロタウイルスによる胃腸炎は単発例が多くを占めるが、時に学校などにおける集団発生も見られる。

病原体

さまざまな細菌、ウイルス、原虫などが感染性胃腸炎の起病病原体となりうる。細菌としては腸炎ビブリオ、下痢原性大腸菌、サルモネラ、カンピロバクターなど、ウイルスとしてはノーウォーク様ウイルス(以前に小型球形ウイルスあるいはSRSVと呼ばれていたもの)、ロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどがみられる。原虫ではクリプトスポリジウム、赤痢アメーバ、ランブル鞭毛虫などがあげられる。

感染様式は感染者からの糞口感染や、汚染された水・食品を媒介する感染などであるが、ノーウォーク様ウイルスの場合には吐物や飛沫からの感染もありうる。発生形態としては、1) 散発性、2) 食中毒あるいは集団発生、3) 輸入感染症、4) ペットからの感染、などの種々の形を取る。

臨床症状

潜伏期間については原因にもよるが、半日～3日程度のことが多い。しかし、カンピロバクターについては10日と長いこともある。症状についても、原因となる病原体、感染菌量、宿主の状態により異なるが、悪心、嘔吐、下痢、腹痛などが見られる。ときに発熱もみられ、発熱が先行し、嘔吐、下痢など腹部症状が遅れて出現することもある。下痢に関しては、血便あるいは粘血便はEHEC、サルモネラ、カンピロバクター、腸炎ビブリオ、赤痢菌、赤痢アメーバなどでみられ、白色便はロタウイルスで見られる。サルモネラの場合には発熱が目立ち、また、肝臓、胆嚢、虫垂、血管内皮、心臓弁膜、その他の部位の感染を起こすことがある。腸炎ビブリオでは腹部痙攣発作を生ずる。感染性胃腸炎の鑑別診断としては炎症性腸疾患、大腸憩室炎、虚血性大腸炎などが挙げられる。

検査所見としては、一般に細菌感染症では白血球数、赤沈、CRPなどの増加が見られる。

病原診断

病原診断は本疾患の治療、拡大防止を行う上で重要である。感染の形態、すなわち、1) 散发性、2) 食中毒あるいは集団発生、3) 輸入感染症、4) ペットからの感染、などにより病原体を絞るのが可能なこともある。患者の糞便を用い、細菌培養(細菌) ウイルス分離(ウイルス) 直接検鏡(カンピロバクター、原虫) 抗原検出(ロタウイルス、アデノウイルス、EHECのO157抗原、ペロ毒素) 電子顕微鏡検査(ノーウォーク様ウイルス、アデノウイルス、ロタウイルス) PCR法(ノーウォーク様ウイルス、エンテロウイルス) などを行う。

血清抗体の測定は一義的な重要性はないが、EHECの場合にはペロ毒素やリポ多糖体(LPS) に対する抗体測定も行われる。

治療・予防

細菌性の場合には抗菌薬を使用することもあるが、それに関して議論もあり、一般に抗菌薬の適応となるのは重症例、粘血便を伴う例、免疫不全状態、小児や高齢者などで体力低下が予想される例、集団感染を予防すべき場合などとされている。抗菌薬の種類としては、カンピロバクターを除けばニューキノロン薬やホスホマイシンなどが用いられることが多く、カンピロバクターではマクロライド薬、ホスホマイシンなどが用いられる。ウイルス性のもものでは対症療法が中心となる。

予防としては、食中毒の一般的な予防法に準じて食品の加熱を徹底する。また、流行期の手洗いを励行し、患者との濃厚な接触を避けることが重要である。ノーウォーク様ウイルスによる場合には、排泄物や汚れ物の処理の際に十分注意する。いずれの病原体においても院内、家庭内、あるいは集団内での二次感染の防止策を考慮することが肝要である。また、汚染された水、食品を原因とするものでは集団食中毒の一部を捉えていることも考慮に入れ、感染の拡大防止や広域集団発生の早期探知につなげる必要がある。

米国では4価ロタウイルスワクチン(RotaShield, Wyeth Laboratories, Inc., Marietta, Pennsylvania ; RRV-TV) が小児の予防接種として認可されたが、その後、副反応(腸重積) の問題で使用中止となっている。

感染症法における取り扱い

感染性胃腸炎は4類感染症定点把握疾患であり、全国約3,000の小児科定点から毎週報告がなされている。報告の基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の2つの基準を満たすもの。

- 1.急に発症する腹痛(新生児や乳児では不明)、嘔吐、下痢
- 2.他の原因によるものの除外

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によって当該疾患と診断されたもの。

学校保健法での取り扱い

本疾患は、学校において予防すべき伝染病の中には明確に規定はされていない。しかし、ウイルス性疾患を念頭においた「流行性嘔吐下痢症」が、学校で流行がおこった場合にその流行を防ぐため、必要があれば、学校長が学校医の意見を聞き、第3種学校伝染病としての措置を講じることができる疾患に挙げられている。この中で、条件によっては出席停止の措置が必要と考えられる伝染病として扱われている。登校登園については、急性期が過ぎて症状が改善し、全身状態の良いものは登校可能となっており、流行阻止の目的というよりも、患者本人の状態によって判断すべきであると考えられる。もちろん、病原体診断により、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス/パラチフスなどの特異的な診断がなされた場合には、それぞれの疾患の規定に従う。

(国立感染症研究所感染症情報センター)



読者のコーナー

Q: 生物兵器によるテロ、すなわちバイオテロリズムに無関心ではいられない状況です。それに関する情報を得ようと思っておりますが、ウェブページではどんなところがあるでしょうか？

(東京都S.N.さん)

バイオテロリズムに関する情報

世界保健機関WHOがバイオテロリズム対策のガイドラインを発表しました。以下はEurosurveillance Issue 39, 27 September, 2001の記事の抄訳です。

今回の米国でのテロリズムに対応して、WHOは生物化学兵器によるテロリズム対策のガイドライン「Health Aspects of Biological and Chemical Weapons」を発表した。公衆衛生当局者は、適正なリスクアセスメントとサーベイランスの導入により、生物化学兵器による攻撃に対する周到な計画を策定すること、WHOが主催する生物化学兵器に関する協定、協議会の参加国は協力して相互援助を図ることが主な要旨であるが、詳細は以下のURLで閲覧可能である。

http://www.who.int/emc/pdfs/BIOWEAPONS_FULL_TEXT2.pdf

他にも以下のサイトにて関連の情報が閲覧可能です。

バイオテロリズム一般

米国Centers for Disease Control and Prevention

<http://www.cdc.gov/programs/bio.htm>

U.S. Food and Drug Administration

<http://www.fda.gov/cber/cntrbio/cntrbio.htm>

Infectious Diseases Society of America

<http://www.idsociety.org/mo/adv/actions%5Fbioterror.htm>

<http://www.idsociety.org/pa/ps%26p/testimony%5Fbioter3%2D25%2D99.htm>

Center for Civilian Biodefense Studies

<http://www.hopkins-biodefense.org/pages/events/speeches.html>

US Response to Possible Bioterrorism

米国United States Army Medical Research Institute of Infectious Diseases

<http://www.usamriid.army.mil/links/bdr.htm>

炭疽

国立感染症研究所感染症情報センター

<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.htm>(天然痘については、近々掲載予定)

IDWR(感染症発生動向調査週報) 感染症の話 炭疽 1999年第46週(第33号)

日本医師会 米国における同時多発テロ事件に関連して

<http://www.med.or.jp/etc/terro.html>

バイオテロリズムの脅威 - 生物兵器(炭疽菌)によるテロリズム - (10/12一部改訂)

日医雑誌生涯教育シリーズ「感染症の診断・治療ガイドライン」より 炭疽(PDF)

厚生労働省検疫所 中近東であったこんな話!? 炭疽

http://www.forth.go.jp/mhlw/animal/page_h/h07.html

動物衛生研究所九州支所 臨床細菌研究室

<http://www.sat.affrc.go.jp/saikin/saikin.htm>

役に立つかもコーナー、炭疽の診断法

CDC(Centers for Disease Control and Prevention), Disease Information, Anthrax

http://www.cdc.gov/ncidod/dbmd/diseaseinfo/anthrax_g.htm

WHO WHO/EMC/ZDI/98.6

・Guidelines for the Surveillance and Control of Anthrax in Humans and Animals

http://www.who.int/emc-documents/zoonoses/docs/whoemczdi986_nofigs.html

・RATIONALE FOR SURVEILLANCE, RECOMMENDED CASE DEFINITION その他

<http://www.who.int/emc-documents/surveillance/docs/whocdscsr992.html/02Anthrax.htm>

バイオテロ関連疾患

CDC(Centers for Disease Control and Prevention), Public Health Emergency

Preparedness & Response

<http://www.bt.cdc.gov/>

Facts about: Anthrax, Botulism, Pneumonic Plague, Smallpox

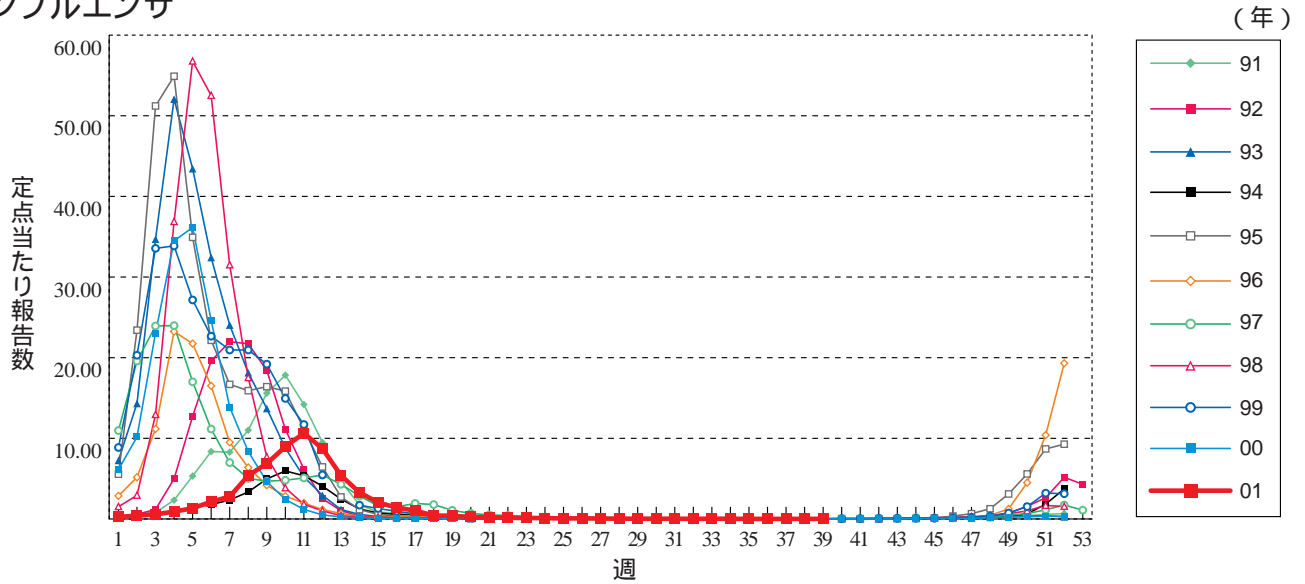
(国立感染症研究所感染症情報センター)

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

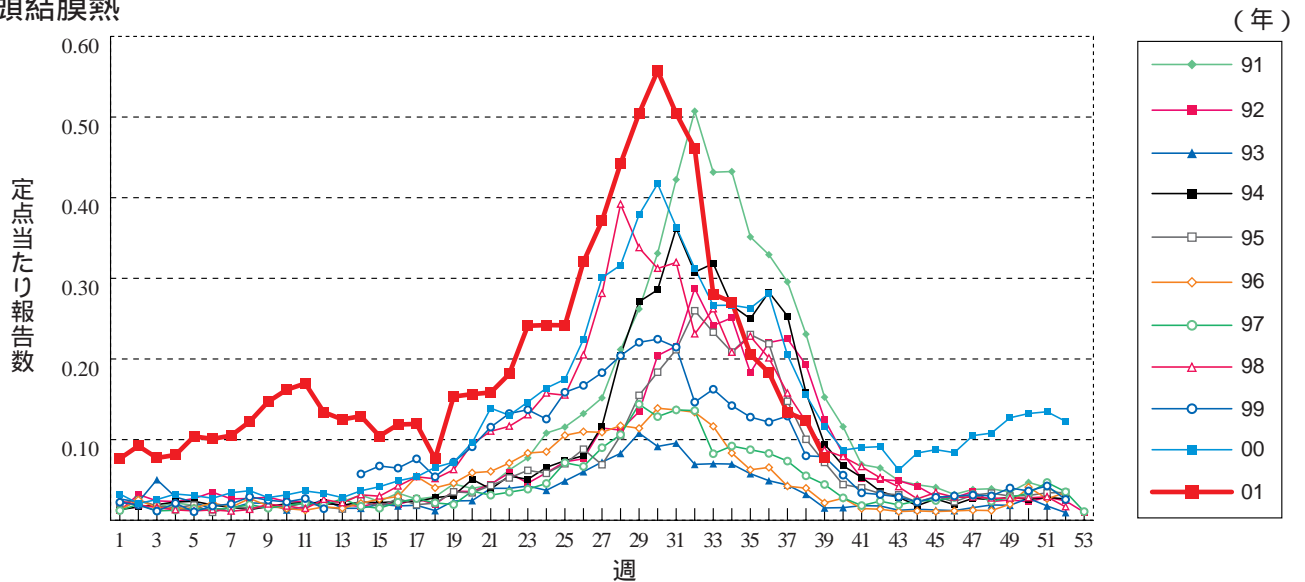
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(39週)

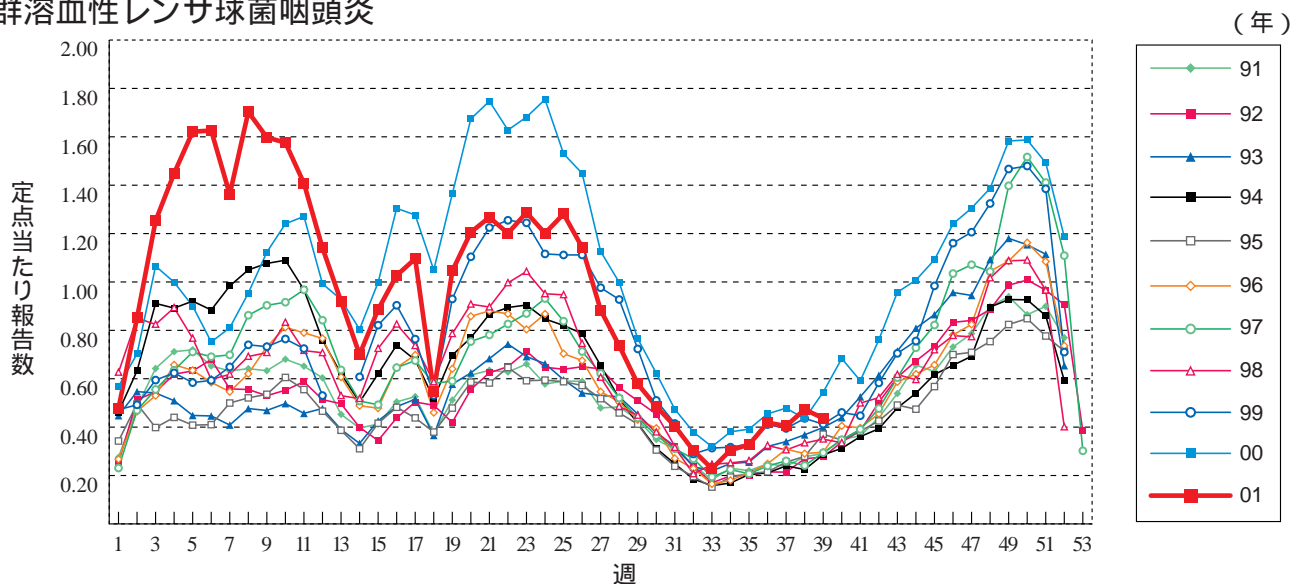
インフルエンザ



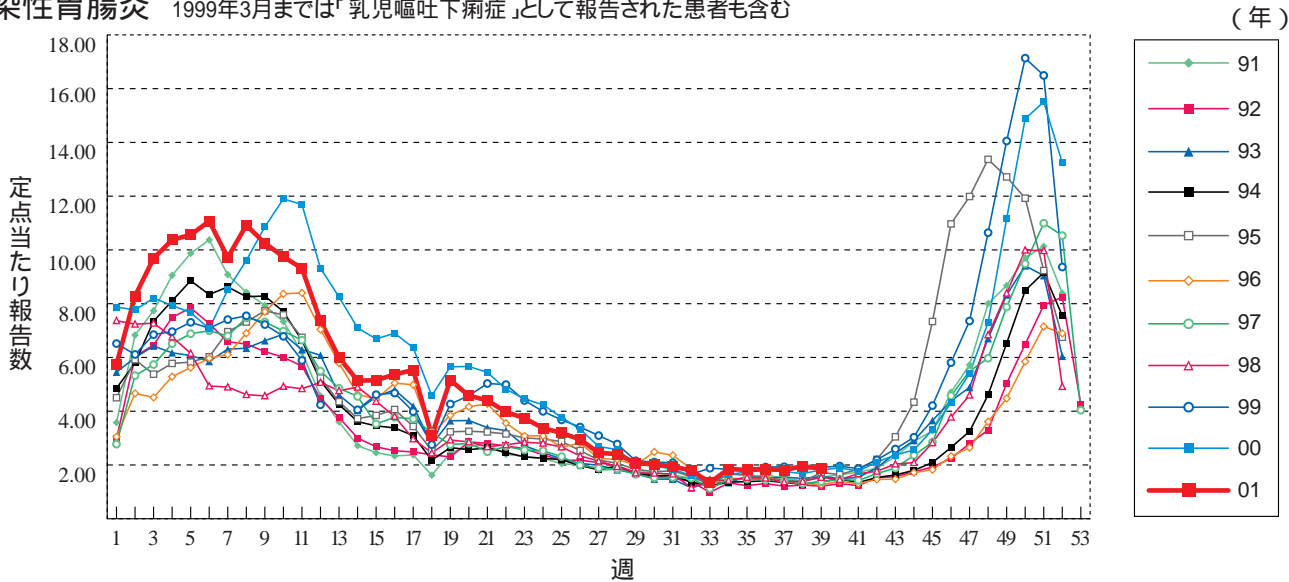
咽頭結膜熱



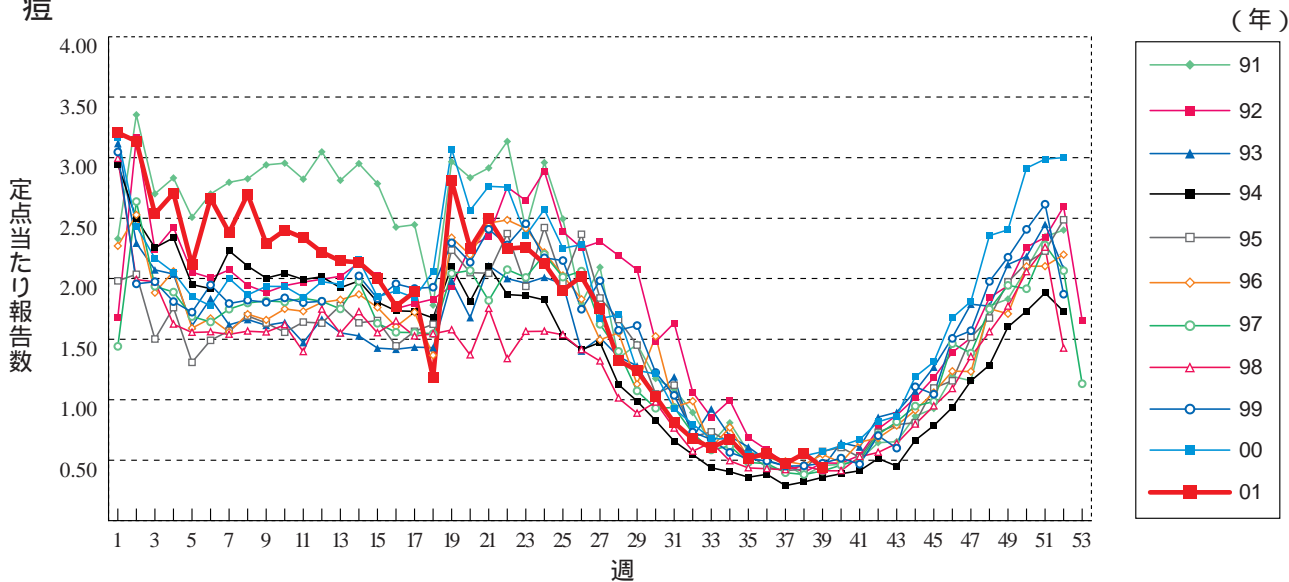
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



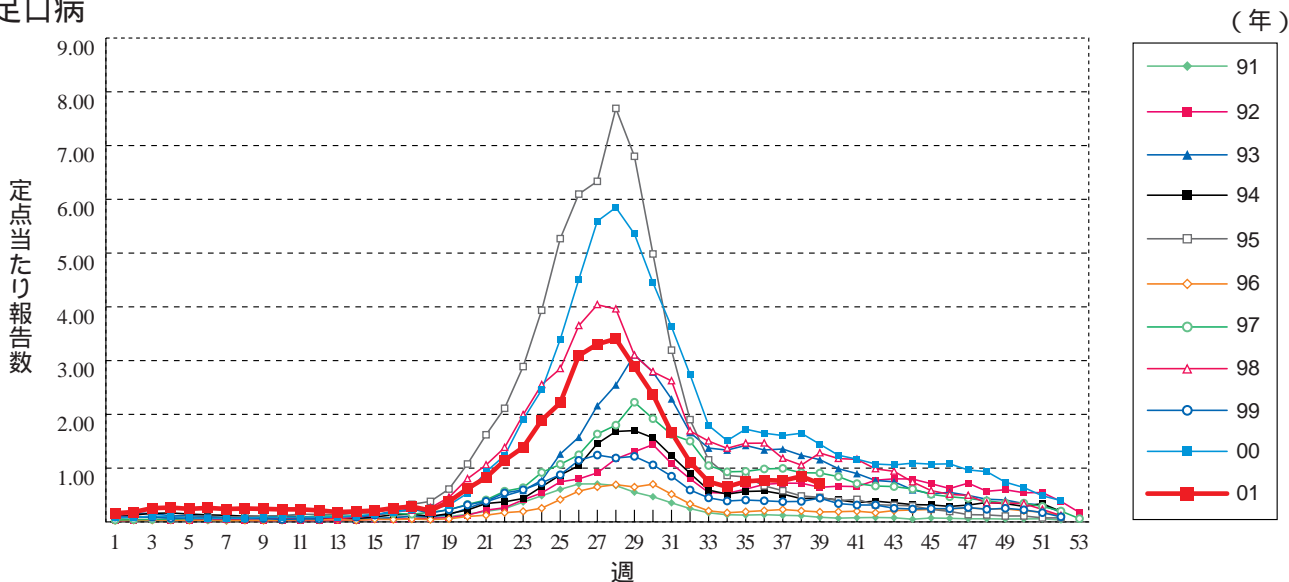
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



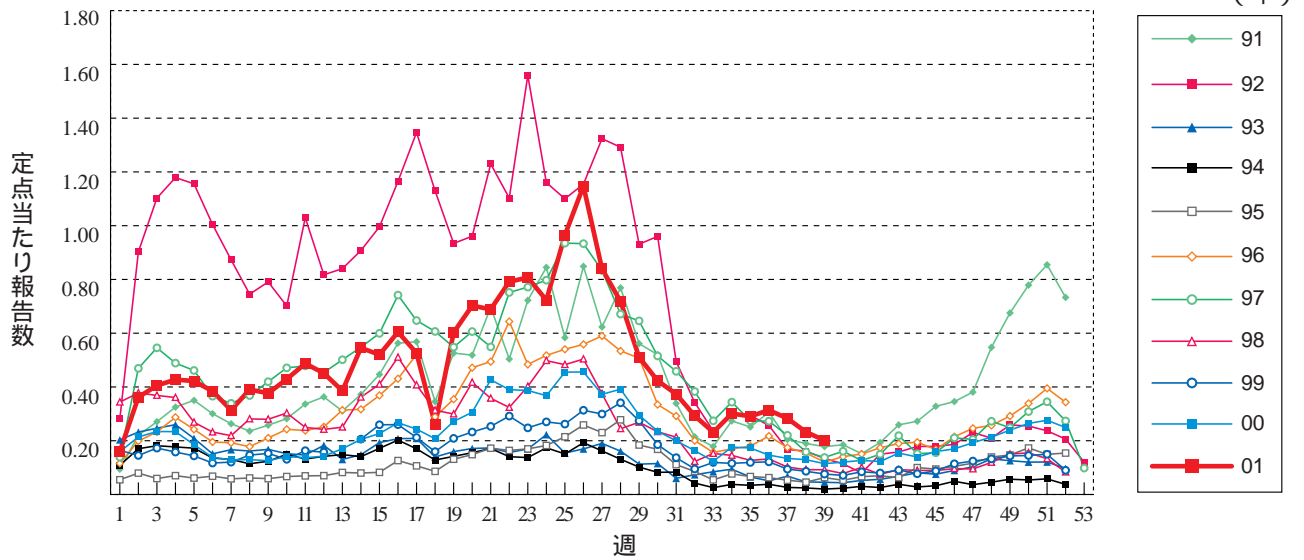
水痘



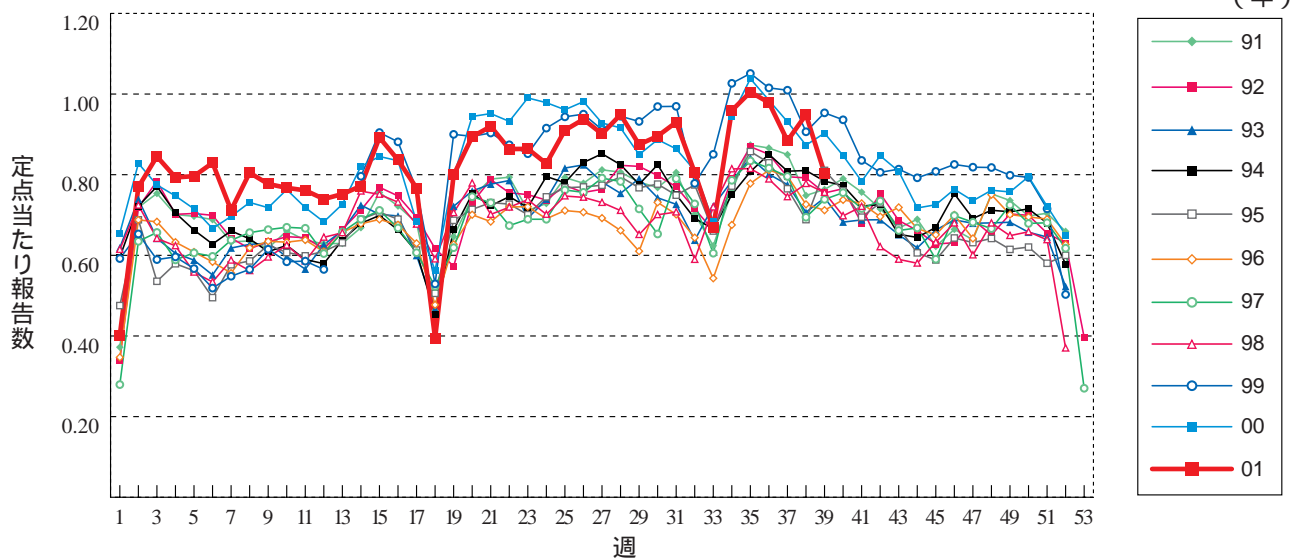
手足口病



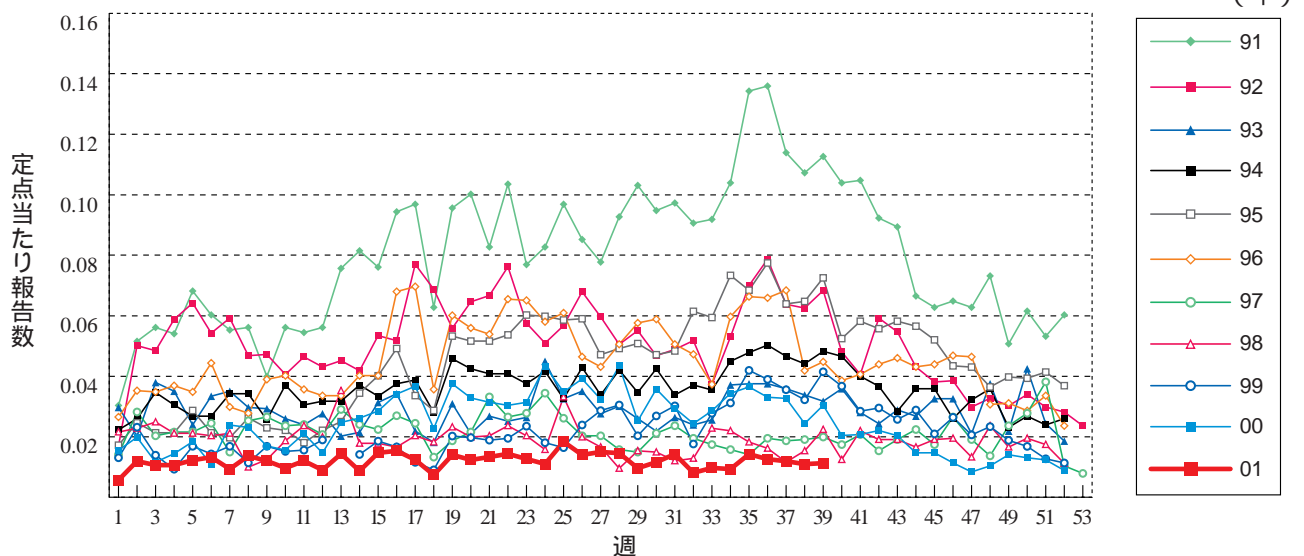
伝染性紅斑



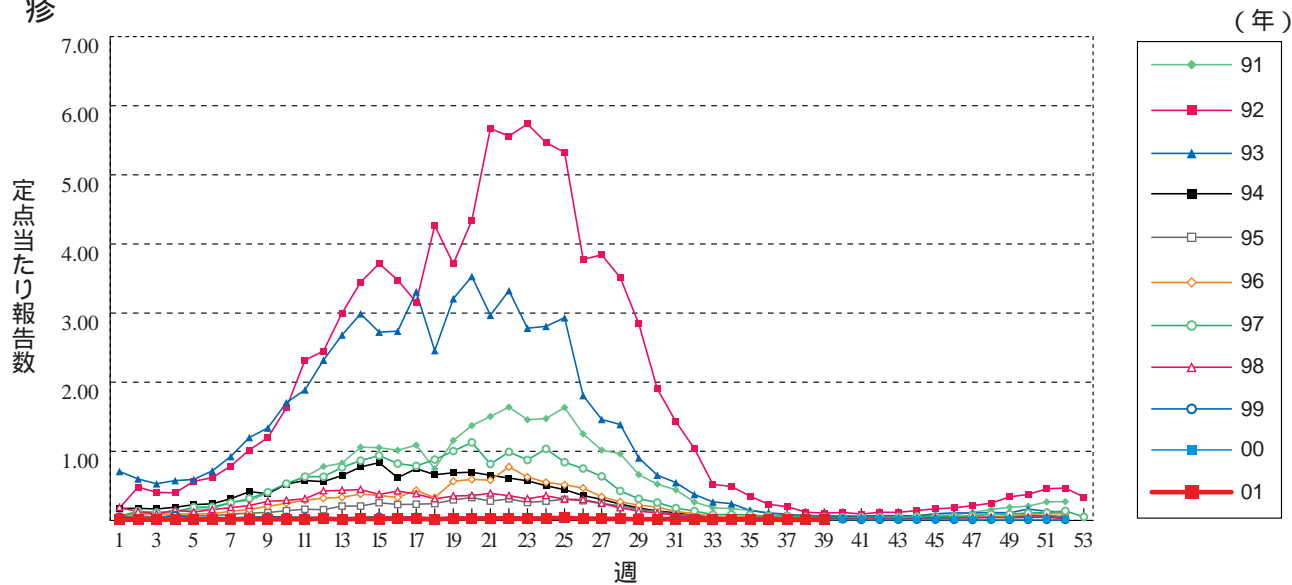
突発性発疹



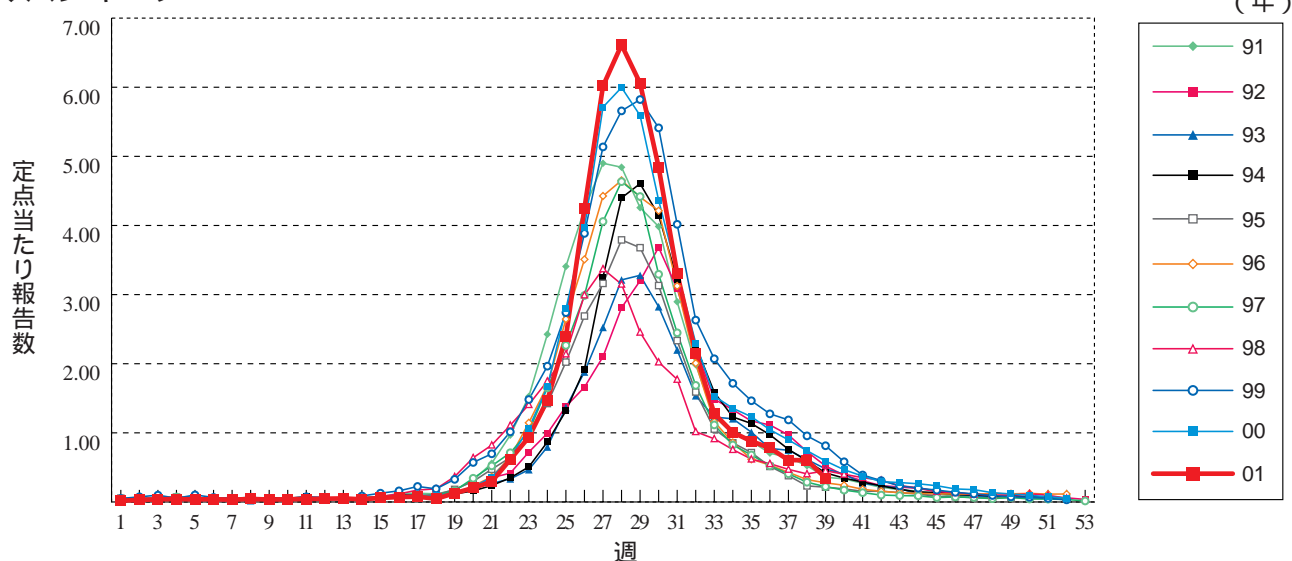
百日咳



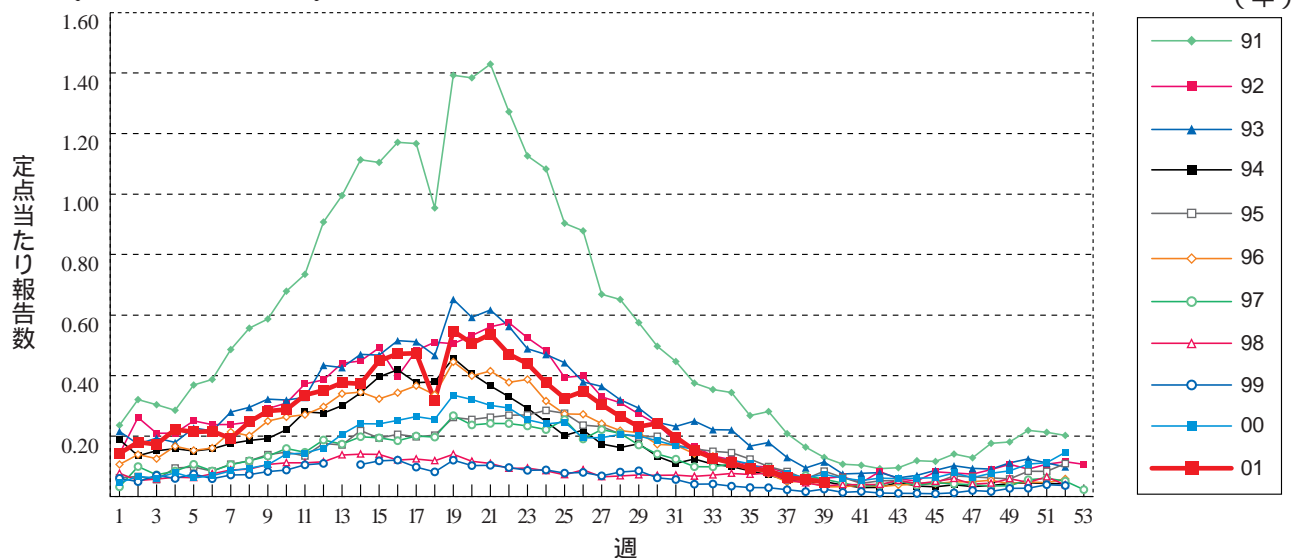
風 疹



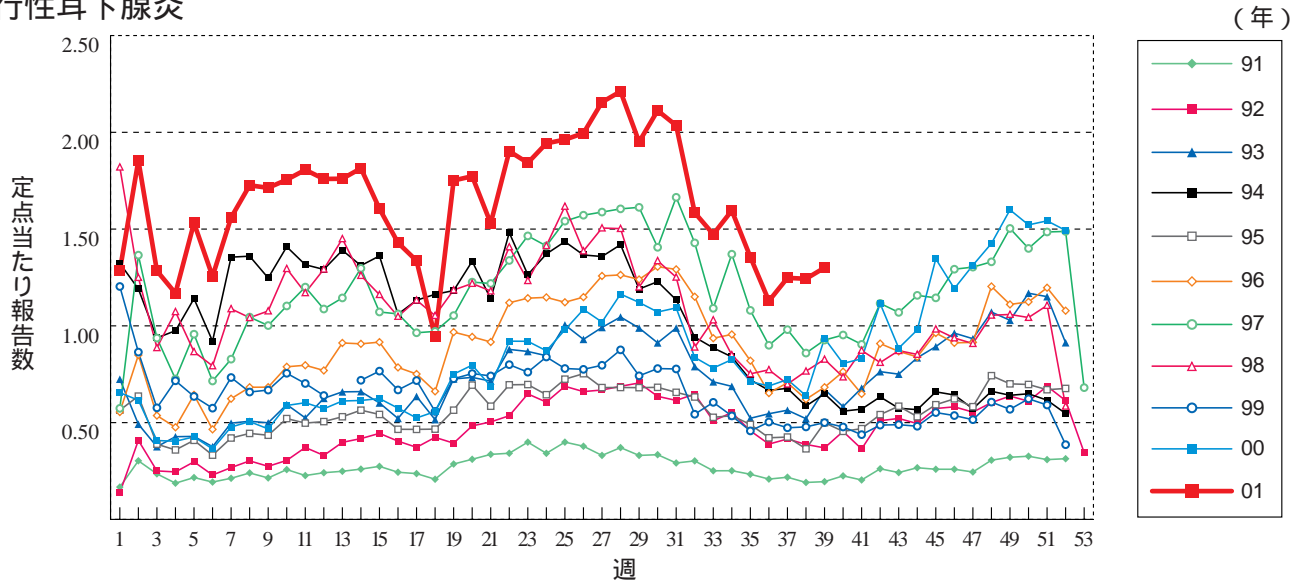
ヘルパンギーナ



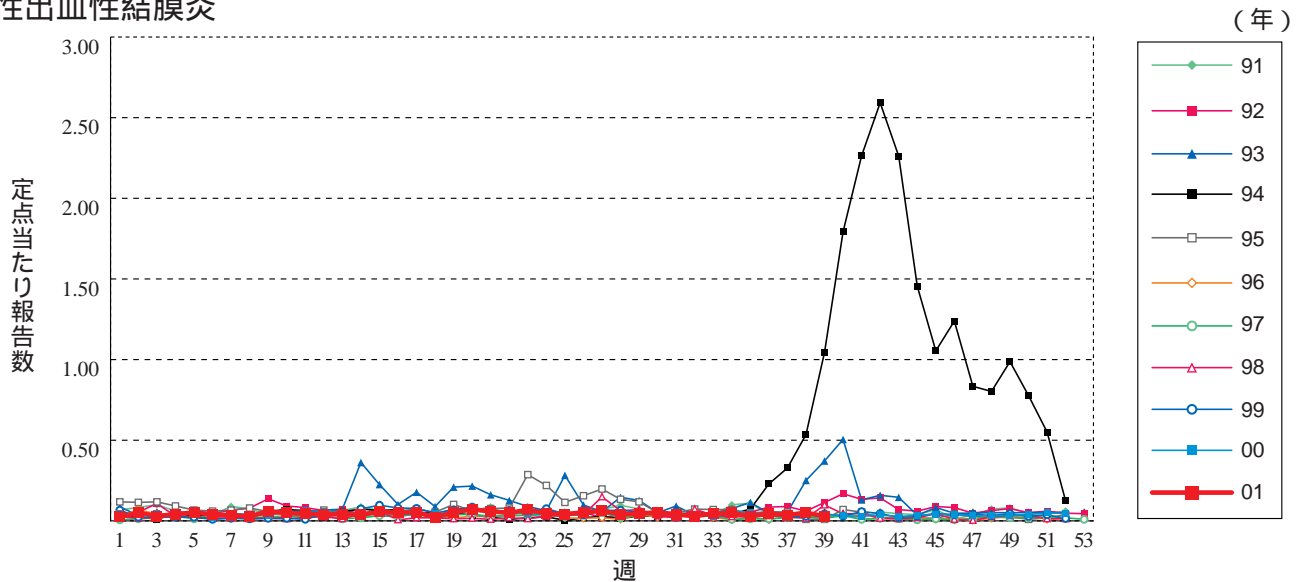
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



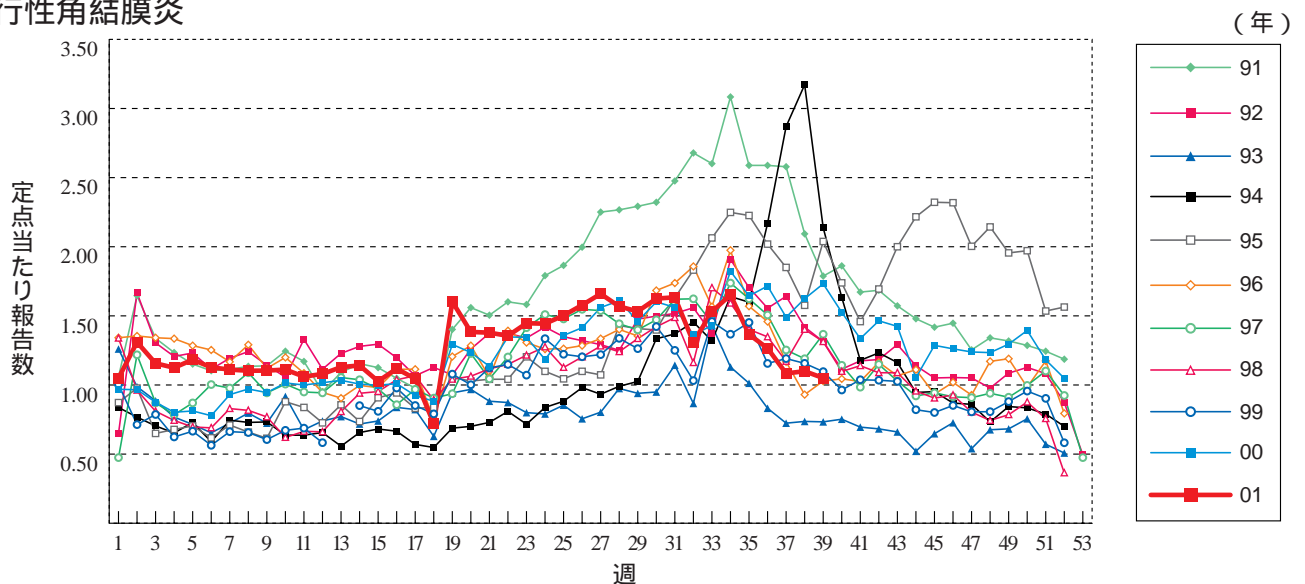
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

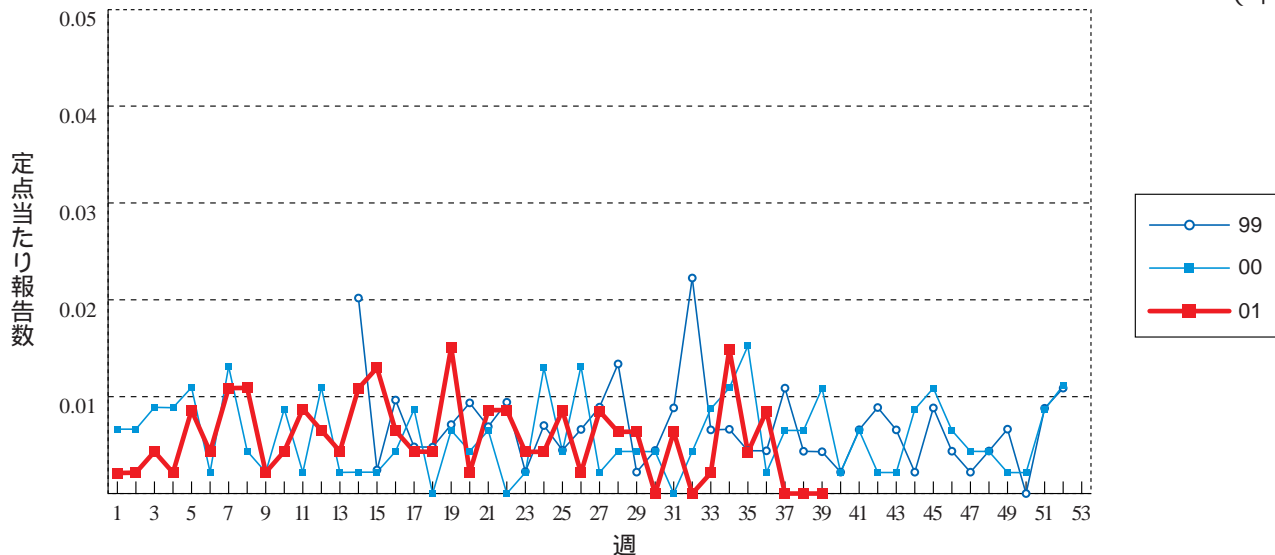


流行性角結膜炎



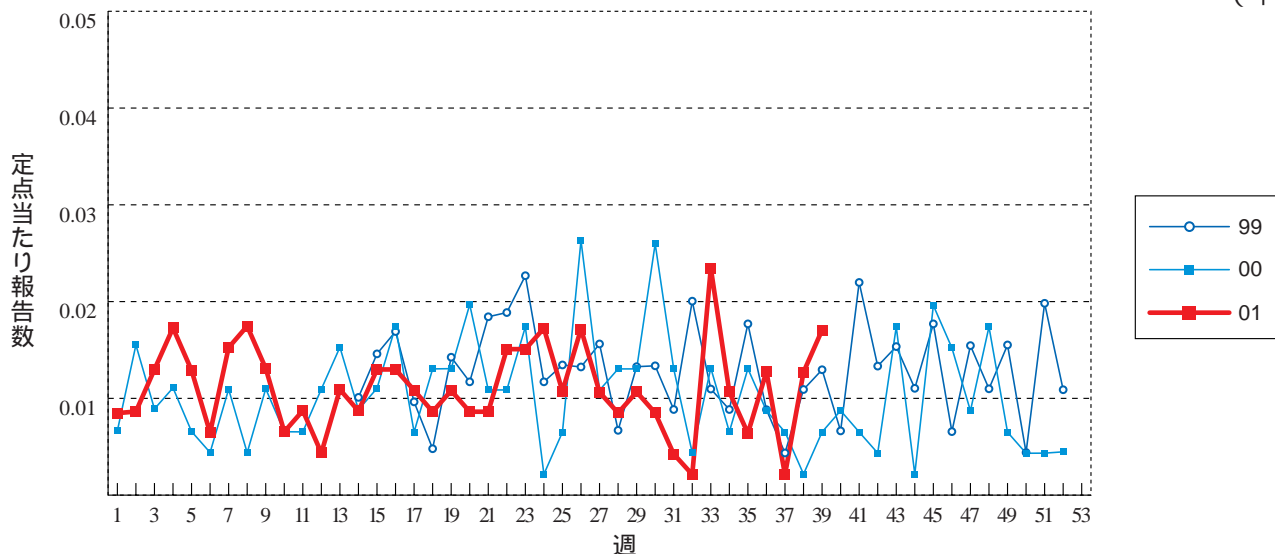
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



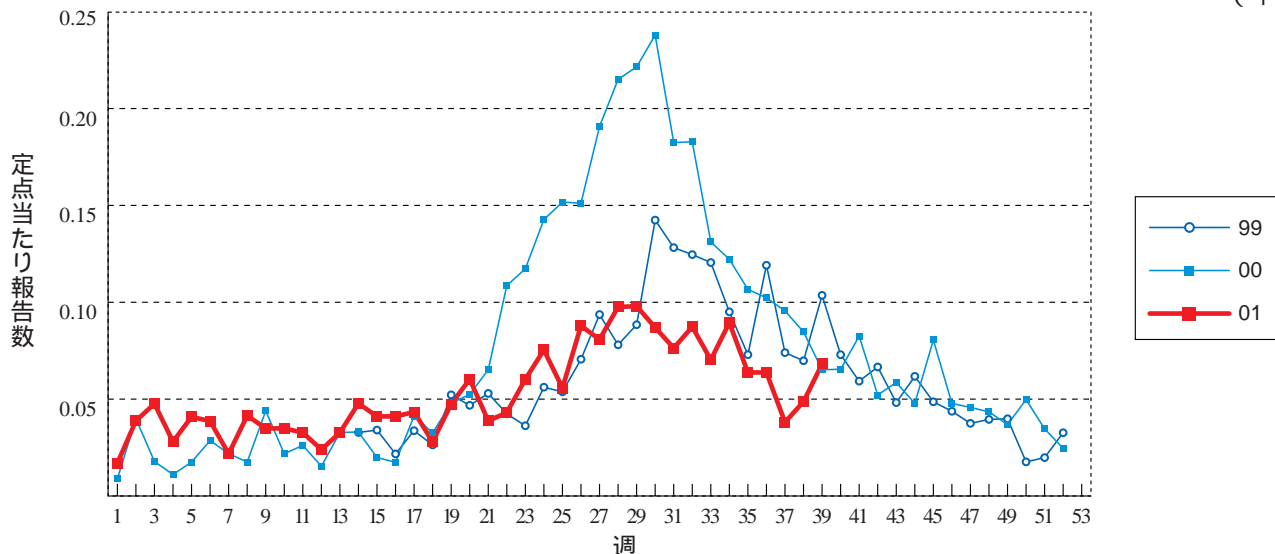
細菌性髄膜炎

(年)



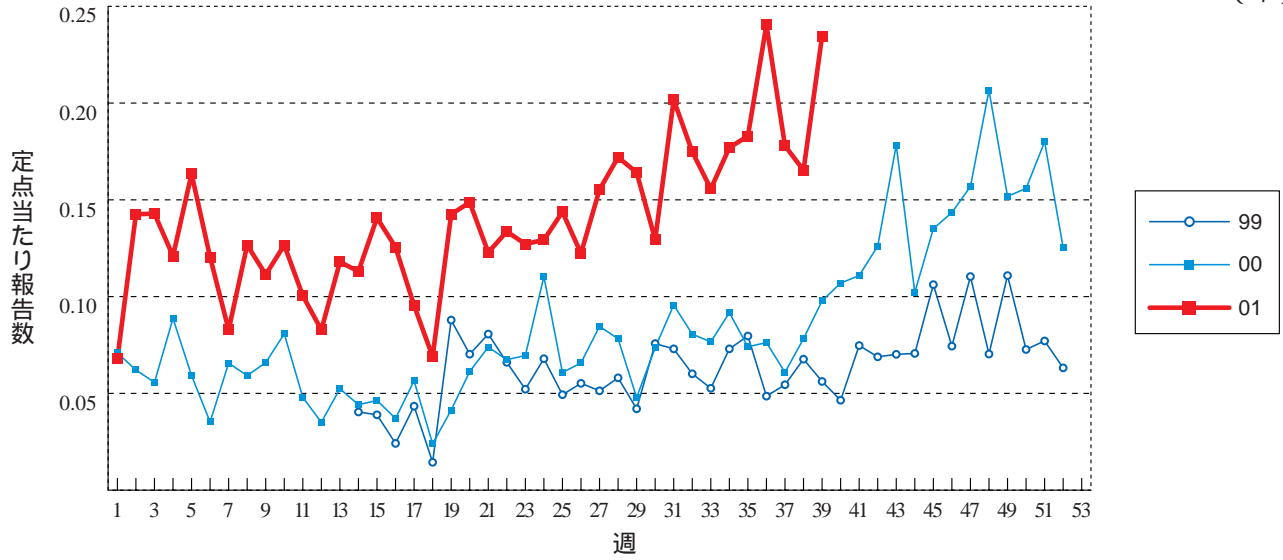
無菌性髄膜炎

(年)



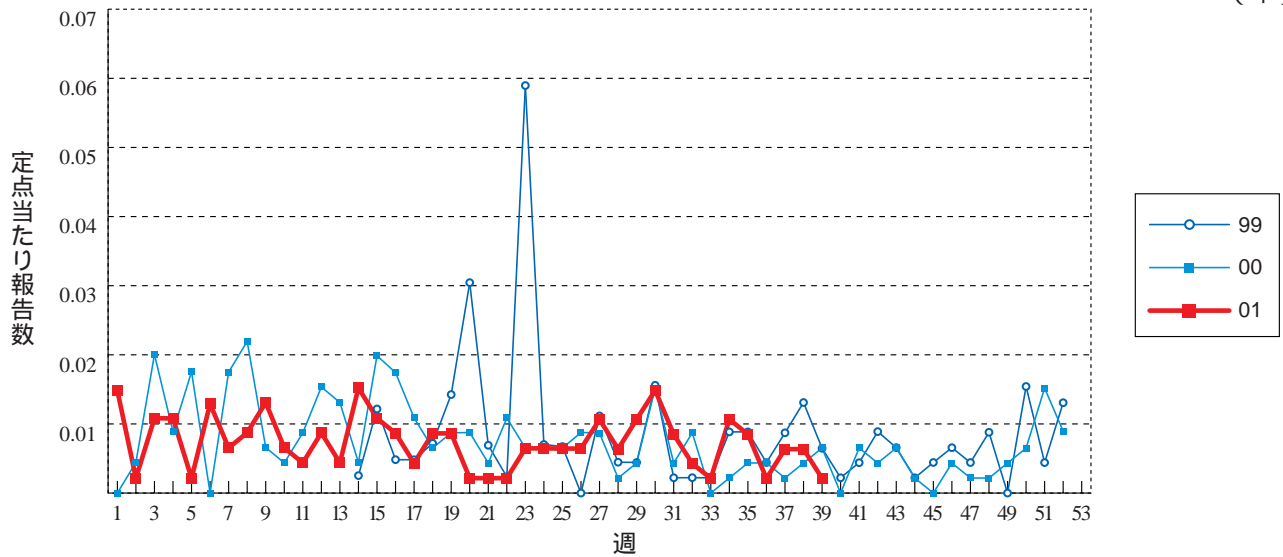
マイコプラズマ肺炎

(年)



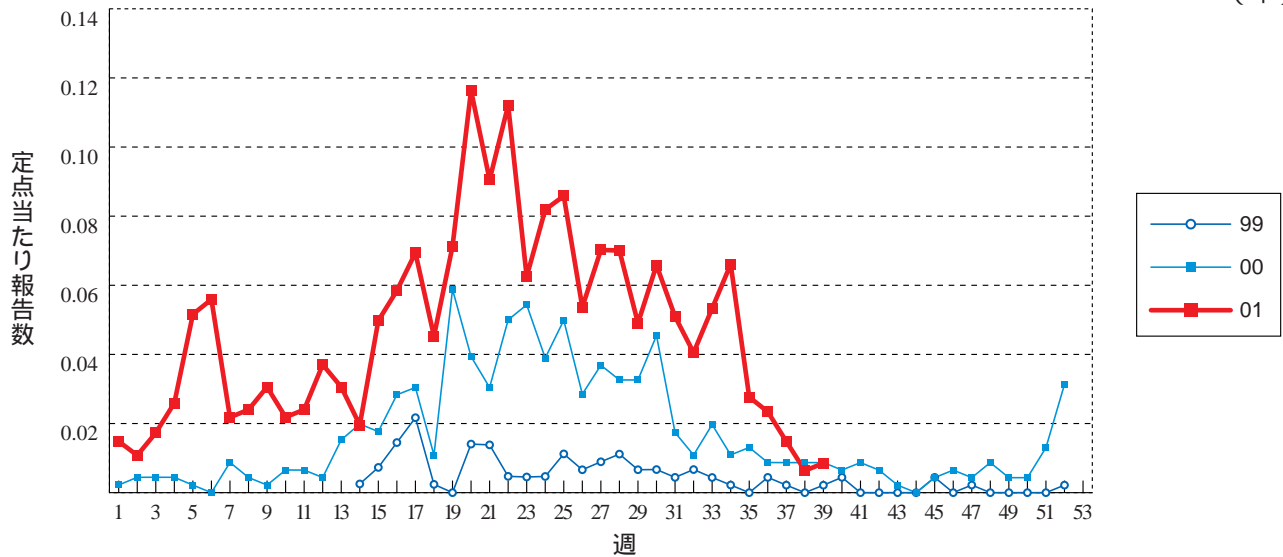
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





39週のデータ

注)表中の報告数は10月5日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年39週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	43	8	495	-	53	-	12
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	15	-	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	22	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	28	-	4	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	4	99	-	15	-	8
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	34	-	2	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	9	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	30	-	5	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	8	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	1	44	-	6	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	28	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	22	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年39週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	84	3805	5	295	-	8	-	-	-	27	-	-	7	700
北海道	-	-	-	-	-	120	-	4	-	7	-	-	-	-	-	-	1	9
青森県	-	-	-	-	2	42	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	3	68	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮城県	-	-	-	-	-	44	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	25
秋田県	-	-	-	-	5	54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山形県	-	-	-	-	3	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福島県	-	-	-	-	1	50	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	-	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
栃木県	-	-	-	-	-	20	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
群馬県	-	-	-	-	2	59	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
埼玉県	-	-	-	-	3	207	1	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14
千葉県	-	-	-	-	3	353	1	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	-	296	-	83	-	-	-	-	-	7	-	-	1	108
神奈川県	-	-	-	-	3	254	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
新潟県	-	-	-	-	1	27	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	1	75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	1	52	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	2	58	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
長野県	-	-	-	-	1	58	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
岐阜県	-	-	-	-	-	20	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
静岡県	-	-	-	-	-	50	-	5	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7
愛知県	-	-	-	-	1	154	-	10	-	-	-	-	-	5	-	-	-	16
三重県	-	-	-	-	1	77	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	43	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	84	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
大阪府	-	-	-	-	11	312	1	44	-	-	-	-	-	3	-	-	1	73
兵庫県	-	-	-	-	16	241	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	2	66
奈良県	-	-	-	-	-	52	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
和歌山県	-	-	-	-	-	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
鳥取県	-	-	-	-	5	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	88	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	2	64	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
広島県	-	-	-	-	-	78	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	2	22
山口県	-	-	-	-	-	43	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	14	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	-	2	46	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	2	18	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	2	114	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
佐賀県	-	-	-	-	-	81	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	1	68	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
熊本県	-	-	-	-	3	37	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
宮崎県	-	-	-	-	2	35	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
鹿児島県	-	-	-	-	3	43	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
沖縄県	-	-	-	-	2	19	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年39週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	22	-	-	-	6	1	87	-	37	8	660	-	1	-	107	-	-
北海道	-	2	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	2	4	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	16	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	2	1	26	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	49	-	-	-	2	-	-
東京都	-	7	-	-	-	4	1	6	-	4	3	257	-	-	-	49	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	2	-	4	-	1	-	68	-	-	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	13	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	1	-	14	-	-	-	2	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	28	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	12	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	2	64	-	-	-	13	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	3	-	16	-	-	-	3	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年39週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	7	-	1	-	-	-	200	-	37	-	26	-	2	-	-	5	393
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山形県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	10
東京都	-	1	-	-	-	-	-	4	-	16	-	-	-	-	-	-	-	74
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	89
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	17
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	18
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	1	-	1	-	-	-	10	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年39週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	59	1	33	-	-	-	-	-	-	-	-	4	84	-	11	-	51
北海道	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	2
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	
千葉県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	
東京都	-	3	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	4	36	-	3	-	8
神奈川県	-	4	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
石川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
岐阜県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
静岡県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	1	
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
徳島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
熊本県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	

第3102表 報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別

平成13年39週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	59	0.01	234	0.08	1319	0.44	5601	1.85	1334	0.44	2149	0.71	608	0.20	2427	0.80	34	0.01
北海道	8	0.03	23	0.16	96	0.66	162	1.12	90	0.62	253	1.74	23	0.16	77	0.53	2	0.01
青森県	2	0.03	-	-	11	0.26	40	0.95	15	0.36	79	1.88	17	0.40	14	0.33	-	-
岩手県	-	-	-	-	12	0.32	29	0.78	35	0.95	29	0.78	5	0.14	18	0.49	-	-
宮城県	-	-	2	0.03	26	0.44	141	2.39	24	0.41	78	1.32	35	0.59	58	0.98	-	-
秋田県	-	-	2	0.06	29	0.83	43	1.23	16	0.46	63	1.80	16	0.46	29	0.83	1	0.03
山形県	1	0.02	1	0.03	29	0.97	26	0.87	9	0.30	95	3.17	14	0.47	28	0.93	-	-
福島県	-	-	-	-	17	0.35	49	1.02	15	0.31	64	1.33	13	0.27	45	0.94	-	-
茨城県	-	-	3	0.04	22	0.30	151	2.07	19	0.26	30	0.41	11	0.15	43	0.59	-	-
栃木県	-	-	1	0.02	14	0.30	102	2.22	10	0.22	3	0.07	8	0.17	47	1.02	-	-
群馬県	-	-	6	0.10	28	0.46	68	1.11	37	0.61	10	0.16	15	0.25	36	0.59	-	-
埼玉県	1	0.00	15	0.09	93	0.58	381	2.38	81	0.51	76	0.48	33	0.21	139	0.87	4	0.03
千葉県	-	-	3	0.02	65	0.51	232	1.81	51	0.40	68	0.53	18	0.14	105	0.82	1	0.01
東京都	3	0.02	7	0.05	16	0.11	226	1.59	39	0.27	45	0.32	26	0.18	73	0.51	-	-
神奈川県	2	0.01	20	0.10	46	0.22	302	1.47	53	0.26	84	0.41	35	0.17	194	0.94	-	-
新潟県	-	-	6	0.10	31	0.53	126	2.14	37	0.63	120	2.03	6	0.10	38	0.64	2	0.03
富山県	1	0.02	1	0.03	26	0.90	53	1.83	21	0.72	16	0.55	4	0.14	23	0.79	-	-
石川県	-	-	-	-	6	0.21	105	3.62	14	0.48	45	1.55	-	-	31	1.07	-	-
福井県	1	0.03	1	0.05	12	0.55	76	3.45	18	0.82	32	1.45	4	0.18	15	0.68	-	-
山梨県	6	0.15	-	-	6	0.24	21	0.84	13	0.52	2	0.08	6	0.24	6	0.24	1	0.04
長野県	-	-	19	0.35	62	1.15	85	1.57	10	0.19	85	1.57	7	0.13	45	0.83	-	-
岐阜県	7	0.09	4	0.09	33	0.70	58	1.23	41	0.87	53	1.13	19	0.40	41	0.87	1	0.02
静岡県	1	0.01	6	0.07	18	0.21	154	1.79	33	0.38	77	0.90	9	0.10	75	0.87	3	0.03
愛知県	2	0.01	7	0.04	62	0.34	252	1.38	44	0.24	163	0.90	30	0.16	136	0.75	2	0.01
三重県	-	-	8	0.18	10	0.22	169	3.76	26	0.58	32	0.71	21	0.47	56	1.24	-	-
滋賀県	-	-	-	-	7	0.22	34	1.06	10	0.31	25	0.78	6	0.19	21	0.66	1	0.03
京都府	2	0.02	1	0.01	36	0.47	217	2.86	34	0.45	37	0.49	14	0.18	54	0.71	-	-
大阪府	4	0.01	19	0.10	68	0.35	310	1.61	75	0.39	36	0.19	31	0.16	138	0.72	1	0.01
兵庫県	-	-	10	0.08	45	0.36	304	2.41	58	0.46	30	0.24	26	0.21	117	0.93	3	0.02
奈良県	-	-	1	0.03	15	0.43	76	2.17	17	0.49	22	0.63	9	0.26	26	0.74	-	-
和歌山県	-	-	-	-	9	0.29	40	1.29	10	0.32	19	0.61	2	0.06	34	1.10	-	-
鳥取県	-	-	4	0.21	27	1.42	73	3.84	3	0.16	40	2.11	1	0.05	15	0.79	-	-
島根県	-	-	-	-	4	0.17	38	1.65	7	0.30	13	0.57	-	-	17	0.74	-	-
岡山県	-	-	-	-	9	0.17	67	1.24	29	0.54	27	0.50	2	0.04	26	0.48	-	-
広島県	-	-	9	0.12	30	0.40	133	1.77	45	0.60	54	0.72	11	0.15	61	0.81	2	0.03
山口県	-	-	2	0.04	38	0.78	113	2.31	18	0.37	17	0.35	13	0.27	56	1.14	-	-
徳島県	3	0.08	1	0.04	8	0.35	38	1.65	16	0.70	39	1.70	9	0.39	21	0.91	-	-
香川県	-	-	1	0.03	5	0.16	69	2.16	9	0.28	48	1.50	14	0.44	26	0.81	1	0.03
愛媛県	-	-	12	0.31	23	0.59	126	3.23	17	0.44	23	0.59	7	0.18	43	1.10	3	0.08
高知県	-	-	4	0.13	21	0.68	24	0.77	15	0.48	4	0.13	2	0.06	20	0.65	-	-
福岡県	-	-	17	0.16	60	0.57	254	2.42	62	0.59	3	0.03	32	0.30	115	1.10	4	0.04
佐賀県	-	-	1	0.04	13	0.57	38	1.65	17	0.74	18	0.78	8	0.35	35	1.52	-	-
長崎県	-	-	-	-	7	0.15	44	0.92	12	0.25	25	0.52	14	0.29	24	0.50	-	-
熊本県	-	-	2	0.04	38	0.78	94	1.92	30	0.61	41	0.84	12	0.24	53	1.08	2	0.04
大分県	-	-	2	0.06	30	0.83	126	3.50	20	0.56	4	0.11	5	0.14	43	1.19	-	-
宮崎県	-	-	5	0.14	20	0.54	165	4.46	41	1.11	4	0.11	9	0.24	51	1.38	-	-
鹿児島県	12	0.12	8	0.13	26	0.43	140	2.33	28	0.47	13	0.22	5	0.08	48	0.80	-	-
沖縄県	3	0.05	-	-	10	0.29	27	0.79	10	0.29	5	0.15	1	0.03	11	0.32	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年39週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	25	0.01	1047	0.35	142	0.05	3927	1.30	18	0.03	666	1.05	-	-	8	0.02	32	0.07
北海道	1	0.01	210	1.45	13	0.09	171	1.18	-	-	24	0.83	-	-	-	-	-	-
青森県	3	0.07	26	0.62	1	0.02	50	1.19	-	-	21	1.91	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	47	1.27	3	0.08	19	0.51	1	0.08	5	0.42	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	53	0.90	3	0.05	34	0.58	-	-	9	0.82	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	39	1.11	-	-	13	0.37	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	12	0.40	-	-	42	1.40	-	-	3	0.38	-	-	-	-	2	0.20
福島県	-	-	13	0.27	1	0.02	49	1.02	-	-	18	1.50	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	9	0.12	4	0.05	96	1.32	-	-	30	1.88	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	9	0.20	-	-	52	1.13	-	-	17	1.42	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	0.02	9	0.15	1	0.02	51	0.84	-	-	16	1.14	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.01	38	0.24	2	0.01	140	0.88	-	-	33	0.92	-	-	-	-	-	-
千葉県	3	0.02	27	0.21	10	0.08	88	0.69	2	0.06	27	0.82	-	-	1	0.08	-	-
東京都	2	0.01	22	0.15	6	0.04	92	0.65	1	0.07	17	1.21	-	-	-	-	-	-
神奈川県	1	0.00	20	0.10	2	0.01	184	0.89	1	0.02	40	0.95	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	10	0.17	-	-	122	2.07	-	-	10	1.11	-	-	-	-	6	0.46
富山県	-	-	18	0.62	-	-	53	1.83	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	12	0.41	-	-	196	6.76	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	8	0.36	-	-	36	1.64	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	5	0.20	-	-	55	2.20	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	20	0.37	-	-	157	2.91	-	-	13	1.30	-	-	1	0.09	1	0.09
岐阜県	-	-	12	0.26	11	0.23	99	2.11	-	-	11	1.00	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	16	0.19	6	0.07	118	1.37	-	-	10	0.50	-	-	-	-	-	-
愛知県	2	0.01	13	0.07	6	0.03	231	1.27	-	-	26	0.74	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	11	0.24	2	0.04	68	1.51	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.03	5	0.16	-	-	22	0.69	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	13	0.17	-	-	54	0.71	-	-	15	0.83	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	54	0.28	8	0.04	225	1.17	4	0.08	27	0.52	-	-	-	-	1	0.08
兵庫県	1	0.01	22	0.17	-	-	105	0.83	-	-	21	0.62	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	7	0.20	2	0.06	45	1.29	-	-	9	1.00	-	-	1	0.17	3	0.50
和歌山県	-	-	4	0.13	-	-	53	1.71	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	14	0.74	-	-	5	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	4	0.17	-	-	19	0.83	-	-	3	1.00	-	-	1	0.13	1	0.13
岡山県	-	-	6	0.11	1	0.02	42	0.78	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	27	0.36	10	0.13	70	0.93	-	-	17	0.85	-	-	-	-	2	0.10
山口県	-	-	36	0.73	3	0.06	37	0.76	-	-	15	1.67	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	1	0.04	-	-	37	1.61	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	7	0.22	-	-	34	1.06	-	-	7	2.33	-	-	1	0.20	-	-
愛媛県	-	-	30	0.77	-	-	122	3.13	-	-	18	2.57	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	17	0.55	3	0.10	6	0.19	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	23	0.22	10	0.10	238	2.27	2	0.08	49	2.04	-	-	-	-	3	0.20
佐賀県	-	-	9	0.39	5	0.22	68	2.96	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	0.02	3	0.06	11	0.23	38	0.79	4	0.40	15	1.50	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.04	39	0.80	1	0.02	99	2.02	2	0.22	44	4.89	-	-	1	0.07	1	0.07
大分県	-	-	18	0.50	3	0.08	36	1.00	-	-	1	0.20	-	-	1	0.10	1	0.10
宮崎県	-	-	39	1.05	-	-	76	2.05	-	-	34	8.50	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.03	10	0.17	2	0.03	139	2.32	-	-	24	4.00	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	-	-	-	-	12	0.35	141	4.15	1	0.10	7	0.70	-	-	1	0.14	7	1.00

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年39週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	110	0.23	1	0.00	4	0.01
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	8	0.40	-	-	-	-
宮城県	14	1.17	-	-	-	-
秋田県	3	0.43	-	-	-	-
山形県	1	0.10	-	-	-	-
福島県	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.11	-	-	-	-
千葉県	4	0.31	-	-	-	-
東京都	3	0.13	-	-	2	0.08
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	3	0.23	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	2	0.40	-	-	-	-
福井県	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	5	0.50	1	0.10	-	-
長野県	1	0.09	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	6	0.75	-	-	-	-
愛知県	6	0.46	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.14	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	5	0.42	-	-	-	-
兵庫県	4	0.29	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	2	0.25	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	12	0.57	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	5	0.83	-	-	-	-
高知県	2	0.25	-	-	-	-
福岡県	3	0.20	-	-	1	0.07
佐賀県	2	0.33	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	3	0.20	-	-	-	-
大分県	6	0.60	-	-	-	-
宮崎県	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	0.14

感染症週報 第3巻、第39号 平成13年10月15日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。